

# 自己デザインの必要性と実施方法

## 自己デザインの必要性

大学・大学院では将来の自分のキャリアのために専門的な分野について、知識を得て、経験を積む必要がある。また、大学・大学院時代は最終学歴となるので、そこでの過ごし方が就職活動および就職後の業務に直結する。ただし、拘束は少なく比較的自由なので本人の計画性の有無によって、得られるものは大きく左右される。

勉強しなくてよいか？ 勉強していればよいか？ 何をすればよいか？  
⇒ 自分で設計し、それをもとに自分で推進する必要がある。

## 自己デザインの実施方法

自己デザインの実施方法については、個人に委ねられる。  
課程としては、自己デザイン活動を奨励し、支援する立ち場である。  
具体的にはPDCAサイクルを用いて、自己デザイン活動の推進を支援する。

学習目標・学習計画書(P) → 実行(D) → 達成度自己評価報告書(C) → 改善(A)

それぞれ学期ごとに作成、提出することを義務付けている(自己デザイン活動のチェック)。

## 学習・教育目標

### 【 学習・教育目標 】

- A. 豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。
  - (1) スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。
  - (2) 地球的視点で物事を考える素養と能力を有する。
  - (3) 科学技術の発展とそれが自然環境、生命、社会などに及ぼす効果や影響を理解できる。
  
- B. 幅広い基礎学力と専門知識を備える。
  - (1) 数学・物理・情報技術などの基礎学力を有する。
  - (2) 伝統的機械工学の専門知識を修得している。
  - (3) 幅広い専門知識を応用して、時代や社会の変化と要求に対応した新たな機械システムを構築できる能力を有する。
  
- C. 国際的に通用する表現力と論理性を備える。
  - (1) 国際的な場でのコミュニケーション能力を有する。
  - (2) 日本語によって論理的な記述、発表、討論ができる。
  
- D. 自律的に判断し、問題を解決する能力を有する。
  - (1) 継続的に学習し、能力開発を自発的に行うことができる。
  - (2) 種々の条件の下で問題解決の可能性を追求し、計画的に目標を達成することができる。
  - (3) チームを構成してリーダーシップを発揮できる。

# 学習目標・学習計画書

## ①機械エンジニアとしての最低限の質の保証(定量的評価)

大学で機械工学を勉強し、最低限の知識等を有すること …… 卒業認定要件

学習・教育目標に掲げた各項目に対応する科目等を履修・修了すること。  
(各項目に対する達成率を100%にする = 卒業認定要件を満足する)

各項目に対応する科目は、達成度評価基準に記載されている。

各学期ごとの履修計画をして、達成率目標の確認する。

## ②自己デザイン活動による個人的な能力向上(付加的要素)

将来のキャリアに向けた能力向上のための自発的な活動の計画 …… 付加価値

学習・教育目標に掲げた各項目に対応する自発的学習(活動)を計画する。

計画・評価ともに個人的に実施する自分独自のストーリー(履歴)作りをする。

# 学習目標・学習計画書／達成度自己評価報告書ファイル

3枚のシート

- ①学習目標・学習計画書
- ②達成度自己評価報告書
- ③集計表

半角文字で入力

全角文字で入力

					学生番号:		
					氏名:		
					年次・学期:	年次	前学期・後学期

年次を入力

- ①上方タブの“挿入”を選択
- ②リボンから“図形”を選択(リボンがないときは上方タブの左側“↓”で出現)
- ③基本図形から“○”を選択
- ④ドラッグ&ドロップで長丸形状を作成
- ⑤対応する学期の上にドラッグ&ドロップで移動する
- ⑥作成した図形の上にカーソルを移動し、“

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 A(1)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

A. 豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。

(1) スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
スポーツ科学Ⅰ, スポーツ科学Ⅱ	左記科目より2単位取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
工学科学教養科目	左記科目より8単位以上取得(下記2項目の4単位を含む)	
工学科学教養科目「科学技術と環境・倫理」の環境に関する科目(☆A)	左記科目より2単位取得	
工学科学教養科目「科学技術と環境・倫理」の倫理に関する科目(☆B)	左記科目より2単位取得	
基本教養科目	左記科目より6単位以上取得	

科目区分 課程	全学共通科目														人間教養科目 合計(注4)	
	言語教育科目			工学科学教養科目							基本教養科目					体の 科学
	英語必修	選択	言語教育科目 合計	工学 科学 入門	科学 技術 と 環境 ・ 倫理	ものづくりと 技術戦略	リーダーシ ップと 経営戦略	京の伝統文化 と 先端	工学 科学 教養科目合計	人 と 社会	人 と 文化	人 と 自然	基本 教養科目合計			
機械工学課程 一般 プログラム 地域創生 Tech Program	6		12		☆A より 2	☆B より 2		2	4	2	2	2	2	2	☆C より 2	22

合計 8 科目  
(地域創生Techは本来 10 科目)

①A7～D7をドラッグ & ドロップで同時選択し、リボンから“セルの結合”を選択。  
書式をMS Pゴシック、12pt、ボールドに修正。

②結合したマスに学習・教育目標“A:豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。”を入力

③8行目のマスにも同様に学習・教育目標“A(1):スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。”を入力

**A:豊かな教養と地球的視点を備え、技術者の社会的責任を認識できる。**

**A(1):スポーツや芸術に慣れ親しみ、人間性豊かな思考のできる教養を備える。**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
授業科目名	実際に選択した科目名)	○	スポーツ科学 I or スポーツ科学 II	昨学期までに達成…●印	
	実際に選択した科目名)	○	リーダーシップと経営戦略	今学期の目標…○印	
	実際に選択した科目名)	○	京の伝統文化と先端		
	実際に選択した科目名)	●	科学技術と環境「倫理」の☆A		
	実際に選択した科目名)		科学技術と環境「倫理」の☆B		
	実際に選択した科目名)		人と社会 基本教養科目)		
	実際に選択した科目名)		人と文化 基本教養科目)		
	実際に選択した科目名)		人と自然 基本教養科目)		
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	8
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	4
				A(1) 達成率目標 (%)	50

A :豊かな教養と地球的視点を備え, 技術者の社会的責任を認識できる.

A (1) :スポーツや芸術に慣れ親しみ, 人間性豊かな思考のできる教養を備える.

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考
授業科目名	実際に選択した科目名)	○	スポーツ科学 I or スポーツ科学 II
	実際に選択した科目名)	○	リーダーシップと経営戦略
	実際に選択した科目名)	○	京の伝統文化と先端
	実際に選択した科目名)	●	科学技術と環境「倫理」の☆A
	実際に選択した科目名)		科学技術と環境「倫理」の☆B
	実際に選択した科目名)		人と社会 基本教養科目)
	実際に選択した科目名)		人と文化 基本教養科目)
	実際に選択した科目名)		人と自然 基本教養科目)

<チェック欄の記号の記入方法>  
 昨学期までに達成…●印  
 今学期の目標…○印

8行あるかを確認する。なければ、行番号の位置にカーソルを持っていき、行を挿入する。

学習計画  
(学習)

達成率100%のための 必要科目・項目数	8
今学期終了時での 予定達成数 ●+○)	4
A (1) 達成率目標 (%)	50

達成率100%のための 必要科目・項目数	8
今学期終了時での 予定達成数 ●+○)	4
A (1) 達成率目標 (%)	50

- ①マスを選択
- ②数式入力箇所(上方)に

=COUNTIF(C10:C17,"○")+COUNTIF(C10:C17,"●")  
+COUNTIF(C10:C17,"")

と入力

- ①マスを選択
- ②数式入力箇所(上方)に

= 真中ののマスを選択、/、  
上のマスを選択、\*、100

と入力

- ③マスの上にカーソルを  
持っていき、右クリックをし  
て、“セルの書式設定”を選  
択

- ④“表示形式”タブで“左  
側”数値“を選択後、“小数  
点以下の桁数“を”0“に設定  
する。

- ①マスを選択
- ②数式入力箇所(上方)に

=COUNTIF(C10:C17,"○")+COUNTIF(C10:C17,"●")

と入力

入力後はチェック欄にしるしを入れて、正しく計算さ  
れているかをチェックする。



**A :豊かな教養と地球的視点を備え, 技術者の社会的責任を認識できる.**

**A (1) :スポーツや芸術に慣れ親しみ, 人間性豊かな思考のできる教養を備える.**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
授業科目名	実際に選択した科目名)	○	スポーツ科学Ⅰ or スポーツ科学Ⅱ	昨学期までに達成…●印	
	実際に選択した科目名)	○	リーダーシップと経営戦略	今学期の目標…○印	
	実際に選択した科目名)	○	京の伝統文化と先端		
	実際に選択した科目名)	●	科学技術と環境「倫理」の☆A		
	実際に選択した科目名)		科学技術と環境「倫理」の☆B		
	実際に選択した科目名)		人と社会 基本教養科目)		
	実際に選択した科目名)		人と文化 基本教養科目)		
	実際に選択した科目名)		人と自然 基本教養科目)		
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	8
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	4
				A (1)	

①最初にこの項目に関する4年間をかけた大目標(多少抽象的なものとなると思われる)を記入(原則として、前学期共通のもの)

②その後、その達成に向けた今学期の具体的な学習・活動計画を記入(各学期に書き換える)

自発的なものとして、基本的に直接講義とは関係のない目標を記入すること。勉強ばかりの目標でないことに注意する。(例えば、ここでは部活動、趣味、読書、映画鑑賞、人とのかかわり方なども目標となる。)

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 A(2)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

(2) 地球的視点で物事を考える素養と能力を有する。

解説：ここで言う「地球的視点で物事を考える」とは、「歴史や文化、習慣や風土、あるいは価値観などの多様性を学ぶことで、幸せや豊かさの概念が多岐に渡ることを認識して、物事を考える」という意味である。特に、環境問題は、自身と他者の幸せや豊かさの概念がぶつかり合う問題であり、本教育プログラムでは、環境マネジメント活動を通じてこの能力を涵養することを意図している。

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
工芸科学教養科目	左記科目より8単位以上取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
基本教養科目	左記科目より6単位以上取得	
人間教養科目	上記で取得した単位を含み22単位以上取得	
《エンジニアのためのリテラシー》	与えられたテーマを地球的視点から考えて調査、考察し、プレゼンテーション資料を作成する課題に合格して、単位を取得すること。	
環境マネジメント活動	環境マネジメント講習に出席し、少なくとも1年間環境マネジメントプログラム実行計画書にしたがって活動していること。	

科目区分 課 程	授業	全学共通科目														人間の教養科目 合計 (注4)
		言語教育科目			人間教養科目							体の科学				
		英語必修	選択	言語教育科目 合計	工芸科学教養科目				基本教養科目							
工芸科学入門	科学技術と環境・倫理				ものづくりと技術戦略	リーダーシップと経営戦略	京の伝統文化と先端	工芸科学教養科目合計	人と社会	人と文化	人と自然	基本教養科目合計				
機械工学課程	一般プログラム	6		12		☆Aより	☆Bより		2	2		2	2	2		☆Cより
	地域創生Tech Program					2	2		4							

合計 13 科目

**A (2) 地球的視点で物事を考える素養と能力を有する。**

達成度評価対象の科目・項目	チェック欄	備考
実際に選択した科目名)	○	スポーツ科学 I or スポーツ科学 II
実際に選択した科目名)	○	リーダーシップと経営戦略
実際に選択した科目名)	○	京の伝統文化と先端
実際に選択した科目名)	●	科学技術と環境「倫理」の☆A
実際に選択した科目名)		科学技術と環境「倫理」の☆B
実際に選択した科目名)		人と社会 (基本教養科目)
実際に選択した科目名)		人と文化 (基本教養科目)
実際に選択した科目名)		人と自然 (基本教養科目)
実際に選択した科目名)		(リーダーシップと経営戦略)
実際に選択した科目名)		人間教養科目 (どれでも可)
実際に選択した科目名)		人間教養科目 (どれでも可)
エンジニアのためのリテラシー	○	エンジニアのためのリテラシー
環境マネジメント活動		4年次に実施
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)		

<チェック欄の記号の記入方法>

昨学期までに達成...●印

- ① B28マスを選択後、“=B10”と入力
- ② 8行分をコピーする

地域創生Techのみ

達成率100%のための 必要科目・項目数	13
今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	5
A (2) 達成率目標 (%)	38

- ① A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ② A(2)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③ 各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C28:C40)

歴史や文化, 習慣や風土,  
あるいは価値観などの多  
様性

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 A(3)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

(3) 科学技術の発展とそれが自然環境、生命、社会などに及ぼす効果や影響を理解できる。

解説：技術者が社会に対して負っている責任（技術者倫理）について理解することも含む。

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
工芸科学教養科目「科学技術と環境・倫理」の環境に関する科目 (☆A)	左記科目より2単位以上取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
工芸科学教養科目「科学技術と環境・倫理」の倫理に関する科目 (☆B)	左記科目より2単位以上取得	
《機械工学実験Ⅰ》, 《機械工学実験Ⅱ》	技術者倫理に対する講義を受けた後、少人数の班に分かれ、具体的に与えられる事例に基づいて討論して考えをまとめてレポートを提出し、これに合格して、単位を取得すること。	
環境マネジメント活動	環境マネジメント講習に出席し、少なくとも1年間環境マネジメントプログラム実行計画書にしたがって活動していること。	

合計 5 科目

**A (3) :科学技術の発展とそれが自然環境, 生命, 社会などに及ぼす効果や影響を理解できる.**

	達成度評価対象の科目・項目	チェック欄	備考
授業科目名	実際に選択した科目名)	●	科学技術と環境・倫理」の☆A
	実際に選択した科目名)	0	科学技術と環境・倫理」の☆B
	機械工学実験 I		3年次に実施
	機械工学実験 II		4年次に実施
	環境マネジメント活動	0	4年次に実施
	この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己データ		

- ① B51マスを選択後、“=B13”と入力
- ② 2行分をコピーする

- ① C55マスを選択後、“=C40”と入力
- ② 2マス分をコピーする

達成率100%のための必要科目・項目数	3
今学期終了時での予定達成数 (●+○)	1
A (3) 達成率目標 (%)	33

技術者が社会に負う責任に関する学習等、ボランティア活動、講座・セミナー受講、TV、雑誌、読書、見学会など

- ① A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ② A(3)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③ 各マスの式における全ての選択範囲を修正 (→ C51:C55)

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 B(1)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

B. 幅広い基礎学力と専門知識を備える。

(1) 数学・物理・情報技術などの基礎学力を有する。

	達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
(a) 数学の基礎を習得	基礎解析Ⅰ, 線形代数学Ⅰ, 統計数理	左記科目の単位取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
(b) 物理学の基礎を習得	工業力学Ⅰ, 工業力学Ⅱ, 物理学実験法及び基礎実験	左記科目の単位取得	
(c) 情報技術の基礎を習得	ソフトウェア演習	左記科目の単位取得	
(d) 自然科学の基礎を習得	専門基礎科目	選択必修科目を含め24単位以上を取得	

合計 15 科目  
(専門基礎科目 選択必修11科目、  
選択1科目、専門3科目)

**B:幅広い基礎学力と専門知識を備える。**

**B(1):数学・物理・情報技術などの基礎学力を有する。**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄
授業科目名	基礎解析 I	
	線形代数学 I	
	統計数理	
	工業力学 I	
	工業力学 II	
	物理学実験法及び基礎実験	
	ソフトウェア演習	
	実際に選択した科目名)	専門基礎科目 選択必修)
	実際に選択した科目名)	
	実際に選択した科目名)	
実際に選択した科目名)		
実際に選択した科目名)		
実際に選択した科目名)		
実際に選択した科目名)		
実際に選択した科目名)	専門基礎科目 選択)	

①A63～D63をドラッグ & ドロップで同時選択し、リボンから“セルの結合”を選択。  
書式をMS Pゴシック、12pt、ボードに修正。

②結合したマスに学習・教育目標“B:”および“B(1)”に対応する内容を入力

数学、物理、情報技術に関する科目外の自主的な学習目標を記入  
例えば、PCの操作方法、資格、ロボコン、雑誌、TV、自主学习など

この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②B(1)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C66:C80)

達成率100%のための必要科目・項目数	15
今学期終了時での予定達成数 (●+○)	0
B(1) 達成率目標 (%)	0

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 B(2)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

### (2) 伝統的機械工学の専門知識を修得している。

解説：ここで言う「伝統的機械工学の専門知識」とは、長年、機械工学の根幹をなしてきた力学と機械設計の知識であり、現代の機械技術者にとっても習得しなければならない基本知識である。

	達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
(a) 材料力学の知識を習得	材料力学Ⅰ及び演習，材料力学Ⅱ及び演習	左記科目の単位取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
(b) 熱力学の知識を習得	熱力学Ⅰ及び演習，熱力学Ⅱ及び演習	左記科目の単位取得	
(c) 流体力学の知識を習得	流体力学Ⅰ及び演習，流体力学Ⅱ及び演習	左記科目の単位取得	
(d) 機械力学の知識を習得	機械力学Ⅰ及び演習，機械力学Ⅱ及び演習	左記科目の単位取得	
(e) 設計法の知識を習得	《創造設計製図演習》または《地域創生課題セミナーⅠ》	左記科目の単位取得	
(f) 製図法と規則を習得	機械製図法Ⅰ，機械製図法Ⅱ	左記科目の単位取得	
(g) 加工法の知識を習得	《機械加工法及び実習》	左記科目の単位取得	

合計 12 科目



**B (2) :伝統的機械工学の専門知識を修得している.**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
授業科目名	材料力学Ⅰ及び演習			昨学期までに達成…●印	
	材料力学Ⅱ及び演習			今学期の目標…○印	
	熱力学Ⅰ及び演習				
	熱力学Ⅱ及び演習				
	流体力学Ⅰ及び演習				
	流体力学Ⅱ及び演習				
	機械力学Ⅰ及び演習				
	機械力学Ⅱ及び演習				
	創造設計製図演習 or 地域創生課題セミナーⅠ				
	機械製図法Ⅰ				
	機械製図法Ⅱ				
	機械加工法及び実習				
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	12
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	0
				B (2) 達成率目標 (%)	0

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②B(2)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C91:C102)

力学、機械設計に関する科目外の自主的な学習目標を記入  
例えば、資格、ロボコン、フォーミュラ、雑誌、TV、自主学習など

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 B(3)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

3) 幅広い専門知識を応用して、時代や社会の変化と要求に対応した新たな機械システムを構築できる能力を有する。

解説：「新たな機械システムを構築できる能力」とは、現在の課題や問題を設定・発見する能力や、これらを解決するための構想力・創造力である。

	達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
(a) 機械システムに関する幅広い専門知識を習得	課程専門科目に属する選択科目	20単位以上を取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
	専門教育科目	必修科目、選択必修科目を含めて90単位以上を取得	
(b) 物づくりに関する最新の状況を知っている。	機械工学課程対象の工場見学、学術講演会及びインターンシップA、インターンシップB、ものづくりインターンシップI	工場見学、学術講演会のいずれかに参加するか、あるいはインターンシップA、インターンシップBまたはものづくりインターンシップIの単位を取得すること。	
(c) 実験等を遂行して、その結果を解析し、それを工学的に考察する能力を有している。	《機械工学実験Ⅰ》、 《機械工学実験Ⅱ》	全てのテーマについて実験を行って、それらの結果を工学的に考察した報告書を作成する課題に合格して、単位を取得すること。	
	《創造設計製図演習》または 《地域創生課題セミナーⅠ》	設定された制約条件の下で、自らのアイデアに基づいて新たな機械を構想・設計・製作し、それらに関する設計報告書・提出物が合格して、単位を取得すること。	
	《卒業研究》または 《卒業プロジェクト》	「実験等を遂行して、その結果を解析し、それを工学的に考察する能力」に対する評価項目に合格して、単位を取得すること。	

合計 16 項目  
(課程専門科目 14科目)

**B (3) :幅広い専門知識を応用して、時代や社会の変化と要求に対応した新たな機械システムを構築できる能力を有する.**

(a) 達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考
課程専門科目に属する選択科目	(ものづくりインターンシップ I)		課程専門科目 選択科目)
	(地域課題導入セミナー)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
	実際に選択した科目名)		課程専門科目 選択科目)
専門教育科目を必要単位数以上取得			課程専門科目 選択科目)

(b) 達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考
工場見学			いずれかに参加、あるいは単位取得
学術講演会			
インターンシップ			

(c) 達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考
授業科目名	機械工学実験 I		
	機械工学実験 II		
	創造設計製図演習 or 地域創生課題セミナー I		
	卒業研究 or 卒業プロジェクト		

この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)	

<チェック欄の記号の記入方法>

昨学期までに達成…●印

- ①11行であることを確認する
- ②多い場合、行番号にカーソルを合わせて行全体を削除して、11行にする

最新の機械工学に関する科目外の自主的な学習目標を記入  
例えば、ロボコン、雑誌、TV、講演会参加、学会参加、教員との懇談、工場見学、インターンシップなど

達成率100%のための必要科目・項目数	16
今学期終了時での予定達成数 ●+○)	0
B (3) 達成率目標 (%)	0

達成率100%のための 必要科目・項目数	16
今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	0
B (3) 達成率目標 (%)	0

- ①マスを選択
- ②数式入力箇所(上方)に

```
=COUNTIF(C113:C123,"○")+COUNTIF(C113C:
123"●")+COUNTIF(C113:C123,"")
+COUNTIF(C131:C134,"○")+COUNTIF(C131:
C134"●")+COUNTIF(C131:C134,"")+1
```

と入力

①これまでと同様の計算

- ①マスを選択
- ②数式入力箇所(上方)に

```
=COUNTIF(C113:C123,"○")+COUNTIF(C113C:123"●")+COUNTIF(C113:C123,"")
+COUNTIF(C131:C134,"○")+COUNTIF(C131:C134"●")+COUNTIF(C131:C134,"")
+IF(OR(C126="○",C127="○",C128="○",C126="●",C127="●",C128="●"),"1")
```

と入力

消す

追加

入力後はチェック欄にしるしを入れて、正しく計算されているかを確認する。

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 C(1)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

C. 国際的に通用する表現力と論理性を備える.

(1) 国際的な場でのコミュニケーション能力を有する.

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
言語教育科目	左記科目より必修6単位を含めて12単位以上を取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする.

合計 12 科目  
(言語科目 必修6科目、選択6科目)

C:国際的に通用する表現力と論理性を備える。

C (1) :国際的な場でのコミュニケーション能力を有する。

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>						
授業科目名	Interactive English A		言語教育科目 (上記以外6科目)	<p>①A142～D142をドラッグ&amp;ドロップで同時選択し、リボンから“セルの結合”を選択。書式をMS Pゴシック、12pt、ボードに修正。</p> <p>②結合したマスに学習・教育目標“C:”および“C(1)”に対応する内容を入力</p>						
	Interactive English B									
	Career English Basic									
	Academic English									
	Career English Intermediate									
	Career English Advanced									
	実際に選択した科目名)									
	実際に選択した科目名)									
	実際に選択した科目名)									
	実際に選択した科目名)									
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				<table border="1"> <tr> <td>達成率100%のための必要科目・項目数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>今学期終了時での予定達成数 ●+○)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C (1) 達成率目標 (%)</td> <td>0</td> </tr> </table>	達成率100%のための必要科目・項目数	12	今学期終了時での予定達成数 ●+○)	0	C (1) 達成率目標 (%)	0
達成率100%のための必要科目・項目数	12									
今学期終了時での予定達成数 ●+○)	0									
C (1) 達成率目標 (%)	0									

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②C(1)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C145:C156)

言語に関する科目外の自主的学習目標を記入  
例えば、英会話、海外旅行、留学生交流、TOEIC、留学など

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 C(2)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

(2) 日本語によって論理的な記述, 発表, 討論ができる.

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
《エンジニアのためのリテラシー》	論理的なプレゼンテーションと活発な討論を行う課題に合格して, 単位を取得すること.	達成度自己評価報告書で計算される達成率が 100% となったときに合格とする.
《機械加工法及び実習》	全てのテーマについて実習を行って, それらの結果に対する報告書を提出し, 論理的に記述されているかどうかという評価項目に合格して, 単位を取得すること.	
《機械工学実験Ⅰ》, 《機械工学実験Ⅱ》	全ての実験テーマの報告書について, 論理的に記述されているかどうかという評価項目に合格して, 単位を取得すること.	
《創造設計製図演習》または 《地域創生課題セミナーⅠ》	設計報告書が論理的に記述されているかどうかという評価項目に合格して, 単位を取得すること.	

合計 5 科目

**C (2) :日本語によって論理的な記述, 発表, 討論ができる.**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
授業科目名	エンジニアのためのリテラシー			昨学期までに達成…●印	
	機械加工法及び実習			今学期の目標…○印	
	機械工学実験 I				
	機械工学実験 II				
	創造設計製図演習 or 地域創生課題セミナー I				
この学習 教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	5
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	0
				C (2) 達成率目標 (%)	0

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②C(2)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C167:C171)

議論、記述、発表、討論に関する科目外の自主的学習目標を記入  
例えば、ディベート、グループディスカッション、グループワーク、執筆、作文、プレゼンテーション、読書など



## 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 D(1)

### 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

D. 自律的に判断し，問題を解決する能力を有する.

(1) 継続的に学習し，能力開発を自発的に行うことができる.

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
全科目	卒業までの学習計画を立て，134単位以上を取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする.
学習目標・学習計画書	学期ごとに学習目標・学習計画書を提出	
達成度自己評価報告書	学期ごとに達成度自己評価を行い，報告書を提出	
《エンジニアのためのリテラシー》	「大学で学ぶために」と「大学で何を身に付けるべきか?」という講義を受講し，単位を取得すること.	

合計 18 項目  
(1科目含む)

**D:自律的に判断し, 問題を解決する能力を有する.**

**D (1) 継続的に学習し, 能力開発を自発的に行うことができる.**

達成度評価対象の科目・項目	チェック欄	備考	チェック欄の記号の記入方法
全科目 卒業に必要な単位数以上)を取得			
学習目標・学習計画書 (1年次・前期)を提出			
学習目標・学習計画書 (1年次・後期)を提出			
学習目標・学習計画書 (2年次・前期)を提出			
学習目標・学習計画書 (2年次・後期)を提出			
学習目標・学習計画書 (3年次・前期)を提出			
学習目標・学習計画書 (3年次・後期)を提出			
学習目標・学習計画書 (4年次・前期)を提出			
学習目標・学習計画書 (4年次・後期)を提出			
達成度自己評価報告書 (1年次・前期)を提出			
達成度自己評価報告書 (1年次・後期)を提出			
達成度自己評価報告書 (2年次・前期)を提出			
達成度自己評価報告書 (2年次・後期)を提出			
達成度自己評価報告書 (3年次・前期)を提出			
達成度自己評価報告書 (3年次・後期)を提出			
達成度自己評価報告書 (4年次・前期)を提出			
達成度自己評価報告書 (4年次・後期)を提出			

①A179～D179をドラッグ&ドロップで同時選択し、リボンから“セルの結合”を選択。  
書式をMS Pゴシック、12pt、ボールドに修正。

②結合したマスに学習・教育目標“D:”および“D(1)”に対応する内容を入力

継続的な学習や能力開発に関する科目外の自主的学習目標を記入  
例えば、他の自己デザイン活動に関する計画立案やPDCAサイクルの実施、部活動やグループ活動における計画立案など

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②C(1)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C182:C199)

達成率100%のための必要科目・項目数	18
今学期終了時での予定達成数 (●+○)	0
D (1) 達成率目標 (%)	0

## 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 D(2)

### 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

(2) 種々の条件の下で問題解決の可能性を追求し、計画的に目標を達成することができる。

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
《創造設計製図演習》または 《地域創生課題セミナーI》	計画的に作業を進め、設計報告書・提出物を定められた期日までに提出して、単位を取得すること。	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
《卒業研究》または 《卒業プロジェクト》	教員の指導の下で年間450時間以上の研究を実施 「種々の条件の下で問題解決の可能性を追求し、計画的に目標を達成することができる能力」に対する評価項目に合格して、単位を取得すること。	
卒業研究記録	卒業研究に関する記録を作成	

合計 4 項目

**D (2) :種々の条件の下で問題解決の可能性を追求し、計画的に目標を達成することができる。**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
科目名	創造設計製図演習 or 地域創生課題セミナー I			昨学期までに達成…●印	
	卒業研究			今学期の目標…○印	
年間450時間以上の研究を実施					
卒業研究記録の作成					
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	4
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	0
				D (2) 達成率目標 (%)	0

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②C(2)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C210:C213)

課題解決に関する科目外の自主的学習目標を記入  
例えば、自主的設計・製作活動、自動車・自転車等の修理・改造、部活動等のメンバとしての活動、問題解決に関わる趣味など

# 学習目標・学習計画書 学習・教育目標 D(3)

## 達成度評価基準 + 履修要綱(卒業要件)

(3) チームを構成してリーダーシップを発揮できる。

解説：ここで言うリーダーシップとは、少人数の班に分かれて行う演習や実習において、班長として演習・実習の円滑な実施に務め、その際に生じた問題などを把握する、あるいは、チームの中で割り振られた自身の役目を責任を持って果たすことで、チームの目的の遂行に協力する能力である。

達成度評価対象	達成度評価方法と評価基準	総合評価方法及び評価基準
スポーツ科学Ⅰ， スポーツ科学Ⅱ	小人数でチームを構成して演習を行い左記科目より2単位を取得	達成度自己評価報告書で計算される達成率が100%となったときに合格とする。
物理学実験法及び基礎実験	小人数でチームを構成し、実験を遂行して左記科目の単位を取得	
《機械加工法及び実習》	少なくとも1回、班長として実習の円滑な実施に務め、その際に生じた問題点などを考察した班長レポートを提出し、これに合格して、単位を取得すること。	
《機械工学実験Ⅰ》， 《機械工学実験Ⅱ》	少なくとも1回、班長として実験の円滑な実施とディスカッションの活発化に務め、その際に生じた問題点などを考察した班長レポートを提出し、これに合格して、単位を取得すること。	
《創造設計製図演習》または 《地域創生課題セミナーⅠ》	自身が責任を持って設計、製作した部分を、設計報告書において明らかにし、チームの円滑な運営がなされたかどうか、また、それに寄与したかどうかという評価項目に合格して、単位を取得すること。	

合計 6 科目

**D (3) :チームを構成してリーダーシップを発揮できる.**

達成度評価対象の科目・項目		チェック欄	備考	<チェック欄の記号の記入方法>	
授業科目名	スポーツ科学 I			昨学期までに達成…●印	
	物理学実験法及び基礎実験			今学期の目標…○印	
	機械加工法及び実習				
	機械工学実験 I				
	機械工学実験 II				
	創造設計製図演習 or 地域創生課題セミナー I				
この学習・教育目標に関する自発的学習目標・学習計画 技術者としての自己デザインのための自発的学習)				達成率100%のための 必要科目・項目数	6
				今学期終了時での 予定達成数 (●+○)	0
				D (3) 達成率目標 (%)	0
今期のガイダンスへの出席		◎	出席 :◎、欠席×		

**ガイダンスへの出欠欄を作成する**

- ①A(1)の対応する3マスを選択後、コピー
- ②C(2)の対応する3マス(もしくは最上段のマス)を選択し、貼り付ける
- ③各マスの式における全ての選択範囲を修正  
(→ C224:C229)

リーダーシップに関する科目外の自主的学習目標を記入  
例えば、部活動等の長、兄弟の長、グループ活動の長、役割の長としての活動など

## 集計表シート(左側)

学生番号	氏名	性別	ガイダンス出席状況	学習目標・学習計画書 提出状況															
				1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		7年次		8年次	
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
112566	工芸 繊維		◎	○	○														

- ①セルを選択し、数式欄に性別“男”もしくは“女”を入力する

- ①セルを選択する
- ②数式欄に“=”を入力
- ③“学習目標・学習計画書”シートの学生番号のセルを選択する
- ④エンターキーを押す
- ⑤氏名のセルについても同様の操作を行う

- ①セルを選択する
- ②数式欄に“=”を入力
- ③“学習目標・学習計画書”シートのガイダンス出席状況のセルを選択する
- ④エンターキーを押す

- ①一つセルを選択する
- ②数式欄に

=IF(OR(学習目標・学習計画書!C185=“●”,学習目標・学習計画書!C185=“○”),“○”,“”)

- を入力する(C(1)対応するマス)
- ③すべての欄にコピー・ペーストをして対応するセル番号に修正する

## 印刷設定(学習目標・学習計画書)とハードコピーの提出

- ①学習目標・学習計画書のシートを選らぶ
- ②“表示”タブのリボン上で“改ページプレビュー”を選択する。
- ③ 1ページ目 …… A(2)まで  
2ページ目 …… B(1)まで  
3ページ目 …… B(3)(b)まで  
4ページ目 …… C(2)まで  
5ページ目 …… D(2)まで  
6ページ目 …… 最後まで

に設定する。幅方向は全て入るように設定する。

- ④両面印刷をして、左二箇所をホッチキスで閉じて提出する。
- ⑤ファイルの提出先は後日掲示等で連絡する。